

初音ミクのヨーロッパ初コンサート、日本茶月間、スポーツ交流など、多彩な企画を実施

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」 12 月の公式企画・最新情報のご紹介

12 月のパリは、一年で最も日照時間が短くなり寒い季節を迎えます。この時期のお楽しみといえば、いたるところで点灯されるクリスマスイルミネーション。ギャラリー・ラファイエットやプランタン・オスマン、BHV Marais、ボン・マルシェなど、有名百貨店からファッション・食品など、あらゆる商店がショーウィンドウを飾り、街中が華やかに彩られます。2018 年 7 月より日本文化・芸術を紹介してきた「ジャポニスム 2018：響きあう魂」では、12 月にも展覧会、舞台公演、映画やスポーツ、生活文化の魅力的なプログラムが実施される予定です。メディアの皆様におかれましては、この機会に是非貴媒体にて、このジャポニスム 2018 をご紹介くださいますよう、何卒宜しくお願いいたします。

●注目のプログラム

日本映画が誇る大スター、有馬稲子氏・香川京子氏ら豪華ゲストが登場！

日本映画の 100 年 第 2 部- I「日本映画再発見」4K 修復で見直すクラシック映画傑作選

11 月 21 日（水）よりスタートした「日本映画の 100 年」第 2 部第 1 セクション「4K 修復で見直すクラシック映画傑作選」では、国際交流基金が修復に協力したデジタル修復版『東京物語』、『浮草』など 8 作品を含めた、計 23 本の最新デジタル技術で生まれ変わった日本映画の傑作が集中上映されています。

また、12 月 7 日（金）、8 日（土）、14 日（金）、15 日（土）に行われるゲストトークには、日本が世界に誇る二人の大スター、有馬稲子氏・香川京子氏ら豪華ゲストや『浮草』の 4K デジタル修復を手掛けた国立映画アーカイブ研究員などが登壇。日本映画史不朽の傑作がもっと面白くなる撮影秘話・修復現場の裏話など、貴重なエピソードを披露していただきます。

詳細は 11 月 20 日付けのプレスリリースをご覧ください。 <https://japonismes.org/press>



有馬稲子氏近影
12 月 8 日登壇予定



香川京子氏近影
12 月 14・15 日登壇予定

講道館長の上村春樹氏と五輪 3 連覇を成し遂げた野村忠宏氏による特別講習会 柔道 ジャポニスム 2018 JITA-KYOEI PROJECT 「上村春樹・野村忠宏 特別講習会」

ジャポニスム 2018 公式企画のうち唯一の武道交流事業である本企画第一弾として、12 月 7 日（金）～9 日（日）に「上村春樹・野村忠宏 特別講習会」を開催します。

モントリオール五輪（1976 年）金メダリストで講道館長の上村春樹氏と、アトランタ（1996 年）、シドニー（2000 年）、アテネ（2004 年）五輪で 3 連覇を成し遂げた野村忠宏氏が、柔道大国であるフランスの指導者や青少年を直接指導し、柔道を通じた日仏交流を展開します。

詳細は本ニュースレター P5 をご覧ください。



上村春樹講道館長
写真：講道館



野村忠宏氏
写真：株式会社 Nextend

12 月のパリは日本茶がブーム。いま日本茶が熱い！ 日本茶月間

フランスへの輸出が年々増加している日本茶。昨年の輸出量は前年より 6 割増を記録しています。12 月はその日本茶に焦点を当て「日本茶月間」を開催します。

月間中は、パリとディジョンの 15 のレストランやカフェが、日本茶カクテルや日本茶スイーツを特別に提供し、フランスの日常生活の中で日本茶を楽しむ可能性を紹介します。あわせて日本茶の世界を知るための講演会も予定しています。

詳細は本ニュースレター P4 をご覧ください。

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局 / ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

● 12 月から始まるジャポニスム 2018 公式企画ラインナップ

※各企画の内容は次頁以降をご覧ください

◀ 展覧会 ▶

タイトル	会期	会場
「MANGA⇄TOKYO」展	11月29日(木)～12月30日(日)	ラ・ヴィレット

◀ 舞台公演 ▶

タイトル	会期	会場
HATSUNE MIKU EXPO 2018 EUROPE	12月1日(土)	ラ・セーヌ・ミュージカル
ジャズ 小曽根真 featuring No Name Horses	12月5日(水)～6日(木)	パリ日本文化会館
現代演劇シリーズ—岡田利規演出『ブラータナー： 憑依のポートレート』	12月13日(木)～16日(日)	ボンピドウ・センター
コンテンポラリーダンス—伊藤郁女×森山未来 『Is it worth to save us?』	12月18日(火)～20日(木)	メゾン・デザール・ド・クレティユ

◀ 生活文化他 ▶

タイトル	会期	会場
「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 日本茶月間	日本茶月間：12月1日(土)～31日(月)	日本茶月間：パリ市内のカフェ、バー
「日本の食と文化を考える」シリーズ 日本茶講演会	日本茶講演会：12月15日(土)	日本茶講演会：パリ日本文化会館
「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ 日本食アトリエ＜調理師学校・シェフ向け＞	12月7日(金)	トゥール大学食文化食物史欧州研究所(トゥール)
柔道 ジャポニスム 2018 JITA-KYOEI PROJECT 上村春樹・野村忠宏 特別講習会	12月7日(金)～9日(日)	アンステイユ・デュ・柔道(パリ)、ル・グラン・ドーム(ヴィルボン＝シュレ＝イヴェット)、トゥールーズ市 スポーツ資源・専門技術・競技力向上センター(トゥールーズ)
日仏ダイアログ④ シンポジウム「グローバル・プレイヤーとしての 日仏協力：日仏協力の現実と未来」	12月7日(金)～8日(土)	パリ日本文化会館

◀ 展覧会 ▶

都市(東京)を映し出してきた日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品と、それらフィクションを注入された現実の(東京)の、複合的体験を提供する企画展示。

「MANGA⇄TOKYO」展

日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品は、都市(東京)の特徴や変化を、鏡のように映し出してきました。本展は、そのさまざまな描写を、多数の原画や模型、映像などでたどります。現実の都市の特徴がいかにフィクションに影響を与えてきたのか。またそれらフィクションやそのキャラクターが、現実の都市にいかなるイメージを重層的に付与し、作用をおよぼしてきたのか。本展は、日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮の展示であると同時に、そこに映し出され、さらには人々の記憶の中で重ね合わされた、(東京)を展示します。「聖地巡礼」など、アニメやゲームが観光資源として注目される中、その意味や可能性に光を当てます。



イラストレーション：吉成曜 ©Crypton Future Media, INC.
www.piapro.net/ ©カラー/ ©武内直子・PNP・東映アニメーション/ ©秋
本治・アトリエピーだま/集英社/ ©創通・サンライズ/ ©TOHO CO., LTD.

報道関係者からのお問い合わせ先：

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央(070-3190-3708)、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

「舞台公演」

日本から世界へと「創作の輪」を広げ続けるバーチャル・シンガー初音ミク。待望のヨーロッパ初上陸となるコンサートを開催！

HATSUNE MIKU EXPO 2018 EUROPE

初音ミクは2007年にクリプトン・フューチャー・メディア株式会社から発売された歌声合成ソフトウェア。このソフトひとつでメロディーに歌詞を乗せた歌を作ることが出来るため、多くの人が初音ミクを採用しました。

そうして出来た歌は様々な創作意欲を沸き立たせ、イラストや動画、ダンスなどの活動に繋がり、初音ミクを中心とした「創作の輪」として広がっています。

現在、初音ミクはインターネット内に留まらず、現実世界へと飛び出し、バーチャル・シンガーとして生身のミュージシャンの演奏に合わせてステージで歌うようになり、日本だけでなくアジアや北米など世界各国で多くの観客を魅了しています。

ヨーロッパでは第一弾となるコンサートを「ジャポニスム 2018」の一環としてフランスで開催！



Illustration by Sameyama Jiro © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

小曽根真が率いるビッグ・バンド、No Name Horses によるジャズ・コンサート。

ジャズ 小曽根真 featuring No Name Horses

バークリー音楽院を卒業すると同時にゲーリー・バートンとツアーし、世界にその名を知られた小曽根真。以来、活躍を続け、NYフィルとの共演などクラシック演奏などでも近年注目を集めています。しかし、その原点は、大人の中に当時12歳で参加したプロのビッグ・バンドでの演奏だといいます。No Name Horses は、ビッグ・バンドにそのような特別な思い出がある小曽根真を中心に2004年3月に結成されました。15名のメンバーのいずれもが日本を代表するミュージシャンで、自身のバンドでリーダーを務めるなど活躍しています。ビッグ・バンドの醍醐味を余すところなく伝え、その音楽は日本のみならず、世界各国から注目を集めています。これまで国内ツアーの他、アメリカ（世界最大のジャズ・コンベンション「IAJE（国際ジャズ教育協会／NY）」）、フランス（ラロック・ダンテロン・ピアノ音楽祭）、スコットランド（エジンバラ・ジャズ・フェスティバル）、ウィーン、シンガポール（モザイク音楽祭）等で演奏してきました。今回のパリ公演で演奏する曲のひとつは、ガーシュウインのピアノ協奏曲を小曽根真がビッグ・バンド用にアレンジした Rhapsody in Blue。ジャズ色の強いこのクラシックの名曲に、小曽根の感性が即興を通して発揮されます。

ほかには、ビッグバンドならではのハーモニーとスイング、各パートの魅力などが存分に楽しめるオリジナル曲を予定しています。



©大村隼平

日本現代演劇の旗手・岡田利規（チェルフィッチュ主宰）が生み出す、演劇の起点かつ新領域。

現代演劇シリーズ—岡田利規演出『プラタナー：憑依のポートレート』

日タイ国際共同制作プロジェクト。タイの気鋭小説家ウティット・ヘームムーンによる『プラタナー：憑依のポートレート』を岡田利規が舞台化。1990年代初頭から2017年のタイに生きる芸術家の半生と性愛遍歴を描きながら、同じく芸術家であり同世代でもある岡田とウティットが自身の半生を投影し、日本とタイの「今」を映し出します。



photo: Tananop Kanjanawutisit

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局 / ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp

踊ることで世界は救えるのか？！

フランスで活躍する振付家・ダンサー伊藤郁女と多彩な活動で注目を集める森山未来による初のデュオ。

コンテンポラリーダンスー伊藤郁女×森山未来

『Is it worth to save us?』

国際的に活躍する振付家・ダンサーであり、メゾン・デザール・ド・クレティユのアソシエイト・アーティストである伊藤郁女と、俳優として、またダンサーとしてめざましい活躍を見せる森山未来による新作デュオ。2人はまるで自分たちが「異星人」であるかのような違和感を共有し、この世界と奇妙な距離感をもって生きています。それは三島由紀夫のSF小説『美しい星』の登場人物が感じているものとよく似ています。2人はこの小説の核心である「地球は救うに値するのか？」という問いをめぐる異星人の対話に焦点を当て、伊藤による執筆を通じて舞台化。2人のダンサーの身体とその間にある距離を通して、温かな関係性が生まれたかと思うと次の瞬間には冷淡になることもできる、人間たちの振る舞いを考えます。



©Théo Touvet

《生活文化他》

「日本の食と文化を楽しむ」シリーズ 日本茶月間 「日本の食と文化を考える」シリーズ 日本茶講演会

日本茶月間

広くパリの皆さんにフランスの日常生活の中での日本茶の様々な楽しみ方についてのアイデアを紹介することを目的に、11月19日に開催した専門家向けの日本茶アトリエを踏まえ、パリとディジョンのカフェやバー計15店が「日本茶カクテル」や「日本茶スイーツ」等を提供する特別月間です。

・日時：12月1日（土）～31日（月）

特設サイト <https://nihoncha.japonismes.org/>

日本茶講演会

「限りない日本茶の世界」というテーマのもと日本茶専門家2名による講演会を実施し、文化的側面と科学的側面の両面から、日本茶と日本人・日本文化、日本茶の味わいや効能、日本茶の汎用性や新しい日本茶の魅力等について考える場を創出します。

- ・日時：2018年12月15日（土）15時～
- ・会場：パリ日本文化会館
- ・講師：大森正司氏（大妻女子大学名誉教授、大妻女子大学お茶大学校長）
南雲主于三氏（ミクソロジスト、スピリッツ&シェアリング株式会社 代表取締役）

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム2018 PR事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



「日本の食と文化を学ぶ」シリーズ

日本食アトリエ <調理師学校・シェフ向け>

第4回となる今回は、トゥール大学食文化食物史欧州研究所が毎年主催する食を考えるイベント「Rencontres François Rabelais（フアンソワ・ラブレの出会い）」において、フランス料理に常に刺激・新たな着想を与え続けているという観点から、日本料理の特徴をプレゼンします。プログラムは、http://iehca.eu/sites/default/files/programme_14e_rencontres.pdf 参照（フランス語のみ）。

世界の柔道大国である日本とフランスが、子どもから指導者まで、老若男女さまざまなレベルでの柔道交流を深めます。

柔道 ジャポニスム 2018 JITA-KYOEI PROJECT

ジャポニスム 2018 公式企画のうち唯一の武道交流事業として、日仏両国が世界をリードする「柔道」に焦点を当てます。その「ジャポニスム 2018 JITA-KYOEI PROJECT」の第一弾、「上村春樹・野村忠宏 特別講習会」（主催：国際交流基金、講道館、フランス柔道連盟）が、12月7日（金）～9日（日）にパリ、ヴィルボン＝シュル＝イヴェット（パリ近郊）、トゥールーズにて開催されます。

本講習会ではモントリオール五輪（1976年）金メダリストで講道館長の上村春樹氏と、アトランタ（1996年）、シドニー（2000年）、アテネ（2004年）五輪で3連覇を成し遂げた野村忠宏氏が、柔道大国であるフランスの指導者や青少年を直接指導し、柔道を通じた日仏交流を展開します。



上村春樹講道館長
写真：講道館



野村忠宏氏
写真：株式会社 Nextend

「上村春樹・野村忠宏 特別講習会」概要

上村講道館長は「指導者の大事な役割」や「心技体」についてを、五輪を三度制した野村氏は得意技「背負投」の極意を、フランスの指導者や子どもたちに向けた「自他共栄」のメッセージを添えて、お伝えします。

① 指導者向け講習会

日時：2018年12月7日（金）19時～21時

会場：アンステイテュ・デュ・柔道（Institut du Judo, パリ14区フランス柔道連盟内 21-23 avenue Porte de Châtillon, 75014 Paris）

② 青少年向け講習会

日時：2018年12月8日（土）

会場：ル・グラン・ドーム（ヴィルボン＝シュル＝イヴェット市, Le Grand Dôme, 3 rue du Grand Dôme, 91140 Villebon-sur-Yvette）

見どころ：本講習会にはイル＝ド＝フランスの柔道クラブに所属する青少年およそ2,000名が参集予定。また、共に元フランス代表選手で五輪メダリストのマルク・アレクサンドル氏（Marc Alexandre／ロサンゼルス五輪（1984年）銅メダリスト、ソウル五輪（1988年）金メダリスト）、リュシー・デコス氏（Lucie Décosse／北京五輪（2008年）銀メダリスト、ロンドン五輪（2012年）金メダリスト）も指導者として駆けつけます。

③ 指導者・高段者向け講習会

日時：2018年12月9日（日）

会場：トゥールーズ市 スポーツ資源・専門技術・競技力向上センター（CREPS/Centre de ressources, d'expertise et de performance sportives, 1 Avenue Edouard Belin, 31400 Toulouse）

主催：国際交流基金、講道館、フランス柔道連盟

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



日仏ダイアログ④ シンポジウム「グローバル・プレイヤーとしての日仏協力：日仏協力の現実と未来」

外交関係樹立 160 年を迎えた日仏は今、テロや安全保障、移民・難民等のグローバルイシューにどう向き合うのか。その中で広報文化外交の持つ力とは。国際舞台における日仏協力の可能性を考えます。

・登壇者：

伊豆見 元（東京国際大学教授）
 片岡 貞治（早稲田大学教授）
 國分 良成（防衛大学校学校長）
 坂井 一成（神戸大学教授）
 田中 明彦（政策研究大学院大学学長）
 野中 尚人（学習院大学教授）
 渡邊 啓貴（東京外国語大学教授）
 Laurence Badel（パリ第1大学教授）
 Guibourg Delamotte（INALCO 教授）
 Pascal Perrineau（パリ政治学院教授）
 Dominique Reynié（政治刷新研究基金事務局長）

●開催中の公式企画ラインナップ

◀展覧会▶

「縄文ー日本における美の誕生」展

期間：～12月8日（土）まで

会場：パリ日本文化会館

井上有一 1916-1985 -書の解放-

期間：～12月17日（月）まで

会場：トゥールーズ・ロートレック美術館（アルビ）

「MANGA⇄TOKYO」展

期間：～12月30日（日）まで

会場：ラ・ヴィレト

「安藤忠雄 挑戦」展

期間：～12月31日（月）まで

会場：ボンビドウ・センター

ルーブル美術館ピラミッド内 特別展示 名和晃平 彫刻作品 “Throne”

期間：～2019年1月14日（月）まで

会場：ルーブル美術館・ピラミッド内

「明治」展

期間：～2019年1月14日（月）まで

会場：ギメ東洋美術館

「京都の宝ー琳派 300 年の創造」展

期間：～2019年1月27日（日）まで

会場：パリ市立テュルヌスキ美術館

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp



Japonismes 2018

「ジャポニスムの150年」展

期間：～2019年3月3日（日）まで

会場：装飾美術館

【特別企画】パリ東京文化タンデム2018 アール・ブリュット ジャポネⅡ

期間：～2019年3月10日（日）まで

会場：アル・サン・ピエール美術館

＜舞台公演＞

現代演劇シリーズー岩井秀人構成・演出『ワレワレのモロモロ ジュヌビリエ編』

期間：～12月3日（月）まで

会場：国立演劇センター ジュヌビリエ劇場

＜映像＞

KINOTAYO 現代日本映画祭

期間：～12月まで（地方）

2019年1月17日（木）～26日（土）（パリ日本文化会館）

会場：ル・ヴォバンⅡ（サン・マロ）、ル・メリエス（ポー）、スター（ストラスブール）、リュミエール・ベルクール（リヨン）、ラストレ（シャンベリ）、ル・カネ・トワール、シネトワール・ロシュヴィル（ル・カネ）、ロランピア（カンヌ）、マルリマージュ（マルリ）、パリ日本文化会館

日本映画の100年 ②-1「日本映画再発見（4K クラシック傑作選）」

期間：～12月21日（金）まで

会場：パリ日本文化会館

河瀬直美監督特集 特別展・特集上映

期間：～2019年1月6日（日）まで

会場：ボンピドゥ・センター

「ジャポニスム 2018：響きあう魂」とは

日仏友好160年の本2018年、両国政府間合意に基づき、芸術の都フランス・パリを中心に、大規模な日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム2018：響きあう魂」を開催中。パリ内外の100近くの会場を舞台に、約8か月間に亘り、美術展、舞台公演、映画、その他食や工芸など日本人の日常生活により密着した文化まで含め、さまざまな日本の芸術と文化を、古典から現代まで幅広く紹介します。会期を通じ、約70の公式企画を実施。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を前に、日本文化の多様な魅力をパリに、またパリを通して世界に向けて伝えます。

会期：2018年7月～2019年2月

事務局：独立行政法人国際交流基金

公式ウェブサイト：<https://japonismes.org/>



ジャポニスム 2018

報道関係者からのお問い合わせ先：

（独）国際交流基金ジャポニスム事務局/ジャポニスム 2018 PR 事務局 株式会社サニーサイドアップ内

担当：浅野憲央（070-3190-3708）、川合遼星、松瀬恵子

住所：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

TEL：03-6894-3201 FAX：03-5413-3050 E-mail：japonismes2018@ssu.co.jp